



Creating the Future season III

～ 未来をつくる ～

喜多方東高校
進路だより

第11号

2021.2.26

令和2年度合格体験を聴く会実施——2、3年生

1月29日(金)5、6校時に令和2年度合格体験を聴く会を実施しました。今回は、進路希望を達成した3年生の体験談を2年生が聴き各自の進路の参考にするという趣旨で開催しました。発表してくれたのは、福地優理奈さん(仙台大学体育学部体育学科)、山本礼人さん(城西大学経営学部マネジメント総合学科)、小椋弓月さん(会津大学短期大学部 幼児教育学科)、阿部奈々美さん(竹田看護専門学校看護学科)、菊地唯さん(本宮市役所)、高橋結衣さん(会津オリムパス株式会社)の6名の先輩方です。学年末考査最終日が発表日だったため考査勉強の合間を縫って原稿を考え発表してくれました。

★福地優理奈さん

「緊張を解きほぐす先生のプロフィール」



「自己推薦書」「面接」「グループディスカッション」による総合型選抜入試での合格。日々の学校生活——言葉遣い、挨拶、姿勢やお辞儀などの所作——を大切に。マスクとパーテーション越しの面接ではしっかり前を向いて声を張ることが重要。

★山本礼人さん

「最新のニュースを調べること」

学校推薦型選抜指定校推薦での合格。試験は「面接」のみだったが、基本的な言葉遣いから苦労した。また、最新のニュースについて知ることの重要性を痛感した。「志願理由書」の作成は大学の内容を詳細に調べ、早くから着手すべき。



★小椋弓月さん

「経験したことの全てが武器になる」

学校推薦型選抜指定校推薦での合格。試験は「小論文」「面接」。小論文対策として、子供に関する新聞記事を切り抜き自分の考えをまとめることを毎日続けた。面接では報告書の内容はもちろん現代の子供に関する問題点への対策も必須。



★阿部奈々美さん

「受験は団体戦を実感」



公募推薦での合格。試験は「学科試験(国語・数学)」と「面接」。本格的に受験勉強を始めたのは8月からで3年の9月まで部活動を継続。国語と数学は毎日欠かさず教科の先生に指導して頂いた。試験後も合格発表の時も友達のおかげでありがたさを感じた。

★菊地唯さん

「その場に即した対応力を磨くこと」

一次は「学科試験」、二次は「作文」「面接」「集団討論」が課された。9月下旬の一次試験対策に本格的に取り組んだのは5月。勉強の大変さに挫折しそうになったが、問題演習を繰り返し独学で頑張った。二次までの3週間は作文や面接対策に必死で努力した。



★高橋結衣さん

「たくさん失敗した分強くなれる」



高2の企業説明会で気に入った企業があり進路が確定したと思っていたが、今年コロナの影響で求人がなく一から進路を考えることになった。企業見学では自分の五感で確かめることが何より大切。試験にSPIがあったので何度も問題集を解いて対策した。

発表後の質問コーナーでは、「普段の生活で気をつけていたことは何か。」「経営系の資格を取得しておいたほうが良いか。」「筆記試験の具体的な内容を教えてほしい。」「医療技術に関する質問対策は必要か。」「心が折れそうな時はどう対処したか。」「試験当日の朝はどう過ごしたか。」「座右の銘は何か。」など多くの質問が出され、先輩達はその一つ一つに丁寧に答えました。その後、長澤優希さんがお礼の言葉を述べて会は終了となりました。



終了後の感想も、全員が用紙の最終行まで書いていて集中して取り組んでいた様子が見えました。多くの方が書いていた内容を紹介します。「先輩方の発表を聞くことで、改めて自分達の番になったと思いがちが引き締められました。」「どの先輩も面接練習の時などにメンタルが崩壊したと言っていたので、今から精神面を強く保てるように心がけ早めの試験対策をしたい。」「全員の方が、新聞を読んだりニュースを見たりして最近の社会の動きを知っておく必要があるとおっしゃっていた。時事問題に強くなれば進路実現の可能性が高くなるもおっしゃっていたので、早速実行しようと思った。」「今進路に迷っていて親と話している最中です。それもあり『最終的に学費を出してくれるのは親だから』という先輩の言葉が心に残りました。」